

事業報告書

平成24年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）

1. 農作物共済関係

（引 受）

項 目		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
		人	a	kg	円	円	円	円
水 稻		(実) 20,685	2,627,322.0	－	18,288,624,732	20,852,705	19,094,095	39,946,800
内 訳	一筆方式	(実) 20,466	2,579,416.6	89,194,586	17,901,861,884	19,330,790	18,067,353	37,398,143
	品質方式	219	47,905.4	－	386,762,848	1,521,915	1,026,742	2,548,657
麦(24年産)		(実) 865	505,136.3	－	2,026,782,455	66,847,314	52,524,361	119,371,675
内 訳	一筆方式	45	4,183.3	84,092	13,118,352	229,194	175,618	404,812
	災害収入	820	500,953.0	－	2,013,664,103	66,618,120	52,348,743	118,966,863
麦(25年産)		(実) 876	510,719.4	－	1,706,833,983	57,498,291	42,769,966	100,268,257
内 訳	一筆方式	66	6,552.9	111,581	15,470,273	268,235	193,058	461,293
	災害収入	816	504,166.5	－	1,691,363,710	57,230,056	42,576,908	99,806,964

水 稻 ○ 前年対比：引受面積 99.8%

○ 引受概況：平成24年産の引受は26,273haで、前年より40haの減少となった。

要因としては、24年産米の生産数量目標が前年と比べ、540 t、100ha減少したものの、新規需要米等の作付増加により、40ha減少にとどまったことによるものである。

また引受方式別（戸数割合）では、一筆方式が全体の98.9%を占めており、品質方式では219戸の引受となった。

これは掛金率が高い品質方式が敬遠されたことや、農家単位の引受けとなる同方式では獣害等の局地的な被害に対応できないことから、一筆方式へ引受が移行した。

麦 ○ 前年対比：引受面積 101.1%

○ 引受概況：平成25年産米の生産数量目標は増加したが、麦の作付け時では米の生産数量目標が決定していないため、若干の増加を見込んで作付けを行ったことにより、引受戸数11戸、引受面積 56haの増加となった。

(被 害)

項 目		被害組合員数	支払対象面積	共済減収量	生産金額減少額	共済金	共済金 共済金額	備 考
水 稻		人 (実) 451	a 14, 156. 9	kg 318, 758	円 －	円 32, 403, 919	% 0. 2	
内 訳	一筆方式	(実) 442	13, 374. 7	312, 297	－	31, 852, 134	0. 2	
	品質方式	9	782. 2	6, 461	553, 369	551, 785	0. 1	
麦		462	279, 312. 9	2, 048, 054	－	183, 656, 012	9. 1	
内 訳	一筆方式	20	1, 667. 5	15, 115	－	2, 357, 940	18. 0	
	災害収入	442	277, 645. 4	2, 032, 939	182, 324, 698	181, 298, 072	9. 0	

水 稻 ○ 被害概況：7月20日から21日にかけての集中豪雨や、9月11日の大雨による土砂・瓦礫流入が見られた。
また、県下全域の中山間地を中心にイノシシ・シカによる倒伏及び食害が発生したほか、一部地域において倒伏、病虫害が発生した。

麦 ○ 被害概況：県下全域において12月中旬以降の積雪量が多く、消雪後の雪解水により土壤湿潤害が発生した。また、積雪期間が長かったことにより生育が抑制された。消雪後、低温に経過したことや登熟期の日照不足により成育不良となった。
一部地域では、シカによる食害や虫害が発生した。

(支 払)

項 目		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					<u>実支払共済金</u> 共済金
				保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
水 稻		平成 年 月 日 24. 12. 20	円 32, 403, 919	円 0	円 32, 403, 919	円 0	円 0	円 0	% 100. 0
内 訳	一筆方式	24. 12. 20	31, 852, 134	0	31, 852, 134	0	0	0	100. 0
	品質方式	24. 12. 20	551, 785	0	551, 785				100. 0
麦		24. 10. 25、24. 11. 2、24. 12. 20	183, 656, 012	15, 905, 330	119, 371, 675	25, 362, 150	23, 016, 857	0	100. 0
内 訳	一筆方式	24. 11. 2	2, 357, 940	1, 741, 378	404, 812	0	211, 750	0	100. 0
	災害収入	24. 10. 25、24. 12. 20	181, 298, 072	14, 163, 952	118, 966, 863	25, 362, 150	22, 805, 107	0	100. 0

2. 家畜共済関係

(引 受)

項 目	有資格頭数	事業計画頭数	引受頭数	引受頭数 事業計画頭数	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
	頭	頭	頭	%	円	円	円	円
乳 成 用 牛	1,300	1,150	1,018	88.5	142,708,000	13,679,521	2,110,165	15,789,686
乳 子 牛 用 等	1,200	700	426	60.9	7,672,500			
肥 成 育 用 牛	2,700	2,300	2,213	96.2	245,963,200	7,021,025	2,034,780	9,055,805
肥 子 育 用 牛	400	270	159	58.9	7,174,600			
そ の 他 肉 用 成 牛	300	270	249	92.2	33,828,550			
そ の 他 肉 用 子 牛 等	350	310	301	97.1	11,076,050			
種 豚	500	250	240	96.0	5,289,000	296,268	△ 14,627	281,641
計	6,750	5,250	4,606	87.7	453,711,900	20,996,814	4,130,318	25,127,132

△：納入保険料

家 畜 ○ 前年対比：引受頭数 97.5%

○ 引受概況：畜産農家の高齢化等により、全畜種の飼養頭数が減少傾向にあるため、前年度と比較して共済金額比93.6%となった。

(事 故)

項 目	死 廃 事 故				病 傷 事 故	
	頭 数			共 済 金	件 数	共 済 金
	死 亡	廃 用	計			
乳 用 牛	頭 62	頭 76	頭 138	円 12,453,688	件 708	円 9,632,960
乳 子 牛 用 等	32	1	33	638,121	31	262,780
肥 育 用 牛	24	33	57	4,732,028	631	4,302,780
肥 子 育 用 牛	35		35	1,358,079	420	3,786,520
そ の 他 肉 用 成 牛	3	1	4	290,849	90	1,049,370
そ の 他 肉 用 子 牛 等	10		10	289,875	54	693,300
種 豚	4	4	8	142,118	9	36,960
計	170	115	285	19,904,758	1,943	19,764,670

家 畜 ○ 事故概況：前年度と比較して死廃事故（86.0％）及び病傷事故（99.0％）ともに減少した。

(支 払)

項 目	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					<u>実支払共済金</u> 共済金
		保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
家 畜	円 39,669,428	円 13,772,213	円 25,127,132	円 0	円 0	円 770,083	% 100.0

3. 果樹共済関係

(引 受)

項 目			組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
なし	半 相 殺	24年産	人 20	a 657.0	kg 123,041	円 16,848,000	円 262,479	円 35,010	円 297,489
		25年産	18	529.6	94,316	12,551,000	197,328	27,878	225,206
	全 相 殺	24年産	38	1,175.4	244,136	33,356,000	583,823	73,437	657,260
		25年産	27	919.3	203,037	27,389,000	481,074	61,994	543,068
	災害	25年産	16	470.6	－	14,672,000	217,614	6,333	223,947
かき	全 相 殺	24年産	24	707.8	58,875	5,222,000	172,326	△ 81,463	90,863
		25年産	23	742.9	72,954	6,422,000	211,926	△ 100,183	111,743
うめ	全 相 殺	24年産	61	4,758.5	305,469	48,395,000	1,742,220	△ 391,999	1,350,221
		25年産	50	4,094.3	280,107	47,817,000	1,721,412	△ 387,317	1,334,095
	災 害 収 入	24年産	69	4,236.8	－	44,428,000	1,443,927	△ 35,559	1,408,368
		25年産	84	5,019.5	－	46,536,000	1,512,441	△ 37,249	1,475,192
計	24年産		212	11,535.5	731,521	148,249,000	4,204,775	△ 400,574	3,804,201
	25年産		218	11,776.2	650,414	155,387,000	4,341,795	△ 428,544	3,913,251

△：納入保険料

- なし
- 前年対比：引受面積

104.8%

○ 引受概況：平成25年産なしの引受けは、前年と比較して組合員数3戸、面積0.9haの増加となった。
- かき
- 前年対比：引受面積

105.0%

○ 引受概況：平成25年産かきの引受けは、前年と比較して組合員数1戸減、面積0.4ha増加となった。
- うめ
- 前年対比：引受面積

101.3%

○ 引受概況：平成25年産うめの引受けは、前年と比較して組合員数4戸、面積1.2ha増加となった。

(被 害)

項 目	被害組合員数	支払対象面積	共済減収量	共済金	$\frac{\text{共 済 金}}{\text{共 済 金 額}}$	備 考
	人	a	kg	円	%	
なし 半相殺	7	120.9	8,957	469,340	2.8	
なし 全相殺	7	90.7	8,065	672,530	2.0	
かき 全相殺	0	0.0	0	0	0.0	
うめ 全相殺	20	2,304.2	51,430	3,454,370	7.1	
うめ 災害収入	10	983.3	42,003	2,615,165	5.9	
計	44	3,499.1	110,455	7,211,405	4.9	

な し ○ 被害概況：5月中旬から下旬にかけて気温が低かったことから黒星病が発生した。
また7月中旬以降、降雨が少なく乾燥状態が続いた後、8月上旬から中旬の降雨により裂果が見られた。

か き ○ 被害概況：被害なし

う め ○ 被害概況：開花期にあたる4月の強風により、花が落花し着果量が減少した。
また、5月の降雹により結実後、肥大を開始していた果実が傷果となった。

(支 払)

項 目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					$\frac{\text{実支払共済金}}{\text{共済金}}$
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
	平成 年 月 日	円	円	円	円	円	円	%
なし 半相殺	24. 12. 20	469,340	119,142	297,489	52,709	0	0	100.0
なし 全相殺	24. 12. 20	672,530	0	657,260	15,270	0	0	100.0
かき 全相殺	-	-	-	-	-	-	-	-
うめ 全相殺	24. 10. 25	3,454,370	1,932,934	1,350,221	171,215	0	0	100.0
うめ 災害収入	24. 10. 25	2,615,165	1,114,107	1,408,368	0	92,690	0	100.0
計	-	7,211,405	3,166,183	3,713,338	239,194	92,690	0	100.0

うめ共済の災害収入共済方式に係る共済金支払財源のうち特別積立金充当額については全相殺方式の特別積立金から充当。

4. 畑作物共済関係

(引 受)

項 目		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
大 豆		人 257	a 92,893.9	kg 1,100,784	円 304,011,680	円 33,402,143	円 △ 270,986	円 33,131,157
内 訳	一 筆方式	70	18,525.9	146,056	40,966,961	3,816,092	442,594	4,334,156
	半相殺方式	10	524.7	3,499	729,162	75,470		
	全相殺方式	177	73,843.3	951,229	262,315,557	29,510,581	△ 713,580	28,797,001
そ ば		(実) 989	340,488.1	1,393,921	779,311,600	62,745,777	728,703	63,474,480
内 訳	夏そば	1	3,506.2	21,598	2,224,594	151,161	728,703	63,474,480
	秋そば	989	336,981.9	1,372,323	777,087,006	62,594,616		

△：納入保険料

大 豆 ○ 前年対比：引受面積 77.9%

○ 引受概況：麦跡の作付において大豆またはそばが大半を占める中、播種期の圃場条件の悪化によりそばへの作付変更及び戸別所得補償制度によりそば作付が増加した一方、大豆の作付面積が減少した。
各方式の面積占有率は、一筆方式19.9%、半相殺方式0.6%、全相殺方式79.5%となった。

そ ば ○ 前年対比：引受面積 122.7%

○ 引受概況：農業者戸別所得補償制度の利用により、そばの作付が増加したこと、また、県単事業が廃止となったことから制度共済へ移行したことにより、組合員数298人、面積630ha増加した。

(被 害)

項 目		被害組合員数	支払対象面積	共済減収量	共済金	$\frac{\text{共 済 金}}{\text{共 済 金 額}}$	備 考
大 豆		人	a	kg	円	%	
		44	7,534.5	26,467	7,076,445	2.3	
内 訳	一 筆方式	20	1,714.4	5,925	1,486,241	3.6	
	半相殺方式	1	39.8	179	17,542	2.4	
	全相殺方式	23	5,780.3	20,363	5,572,662	2.1	
そ ば		347	93,905.4	119,533	63,522,460	8.2	
内 訳	夏そば	0	0.0	0	0	0.0	
	秋そば	347	93,905.4	119,533	63,522,460	8.2	

大 豆 ○ 被害概況：播種期の降雨による土壌湿潤害、7月の大雨による風水害が発生した。
また、中山間地においては一部でシカ・イノシシによる獣害が発生した。

そ ば ○ 被害概況：9月上旬の大雨及び9月中旬の台風17号により浸水・冠水し生育不良となったほか、アブラムシが大量発生したことや無
降雨も影響し一部では枯死する被害も発生した。また、中山間地において一部でイノシシによる獣害が発生した。

(支 払)

項 目		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					$\frac{\text{実支払共済金}}{\text{共 済 金}}$
				保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
大 豆		平成 年 月 日	円	円	円	円	円	円	%
		25.03.18	7,076,445	0	7,076,445	0	0	0	100.0
内 訳	一筆・半相殺	25.03.18	1,503,783	0	1,503,783	0	0	0	100.0
	全相殺方式	25.03.18	5,572,662	0	5,572,662	0	0	0	100.0
そ ば		25年度支払予定	63,522,460	5,004,658	58,517,802	0	0	0	0.0
内 訳	夏そば	-	-	-	-	-	-	-	-
	秋そば	25年度支払予定	63,522,460	5,004,658	58,517,802	0	0	0	0.0

5．園芸施設共済関係

(引 受)

項 目		組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
		人	棟	m ²	円	円	円	円	円
ガラス室Ⅱ類		21	30	16,973	80,406,000	64,307,000	192,398	173,129	365,527
プラスチックハウス	Ⅱ 類 (パイプ)	654	3,157	653,794	819,010,000	651,102,000	7,674,936	3,916,095	11,591,031
	Ⅲ 類 (鉄骨下)	103	238	74,102	185,138,000	145,653,000	1,434,000	1,038,631	2,472,631
	Ⅳ類甲 (鉄骨中・軟)	25	46	28,376	89,956,000	71,116,000	238,367	181,060	419,427
	Ⅳ類乙 (鉄骨中・硬)	30	53	40,657	133,455,000	106,735,000	286,041	220,658	506,699
	Ⅴ 類 (鉄骨上)	10	23	10,572	38,717,000	28,454,000	78,960	16,934	95,894
	Ⅵ 類 (雨よけ)	4	32	4,710	7,673,000	6,126,000	41,004	20,917	61,921
計		(延) 847	3,579	829,184	1,354,355,000	1,073,493,000	9,945,706	5,567,424	15,513,130

- 前年対比：引受棟数 193.3%
- 引受概況：育苗ハウス引受開始により前年度と比較して組合員数208人、引受棟数1,727棟、設置面積314,398㎡の増加となった。

(被 害)

項 目		被 害			損害の額	共 済 金				<u>共 済 金</u> 共済金額
		組合員数	棟数	附 帯 施設数		特 定 園芸施設	附 帯 施 設	施設内 農作物	合 計	
ガラス室Ⅱ類		人	棟	基	円	円	円	円	円	%
		1	1	0	313,838	0	0	251,070	251,070	0.4
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	Ⅱ 類 (パイプ)	97	173	4	16,636,192	12,359,721	133,316	782,397	13,275,434	2.0
	Ⅲ 類 (鉄骨下)	12	14	1	838,865	630,951	27,720	0	658,671	0.5
	Ⅳ類甲 (鉄骨中・軟)	3	3	0	461,174	368,903	0	0	368,903	0.5
	Ⅳ類乙 (鉄骨中・硬)	3	3	1	441,379	67,532	33,600	251,655	352,787	0.3
	Ⅴ 類 (鉄骨上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	Ⅵ 類 (雨よけ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計		(延) 116	194	6	18,691,448	13,427,107	194,636	1,285,122	14,906,865	1.4

○ 被害概況：4月3日の爆弾低気圧による風害により前年度と比較して棟数154棟、支払共済金10,851千円の増加となった。

(支 払)

項 目	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
		保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
園芸施設	円	円	円	円	円	円	%
	14, 906, 865	4, 058, 646	10, 848, 219	0	0	0	100. 0

6. 任意共済関係

(1) 建物共済

(引 受)

項 目	加入棟数	共済金額	共 済 掛 金		1 棟当たり 平 均 共済金額	備 考
			純共済掛金	賦課金		
	棟	円	円	円	円	
建 物	42, 424	459, 635, 890, 000	218, 654, 528	161, 883, 090	10, 834, 000	火災共済： 39, 849棟 総合共済： 2, 575棟

○ 前年対比：共済金額 100. 8%

○ 引受概況：『チャレンジ500運動』の展開により、共済金額は37億円増加した。

近年の自然災害の多発を受け風災・雪災・地震を補填する総合共済において棟数が213棟増加した。

(事 故)

項 目	事故棟数	加入総共済金額	支払共済金	備 考
	棟	円	円	
建 物	592	8, 907, 000, 000	169, 797, 694	火災:26件, 落雷:433件, 物体の落下等:17件, 車両の飛び込み:9件, 盗難によるき損又は汚損:5件, 雪害:51件, 風水害:46件, 給排水設備の事故に伴う水ぬれ:5件

○ 事故概況：火災の増加と風災（4月3日爆弾低気圧）により支払額が前年比359. 4%となった。

火災が全体の70. 9%で120, 398千円、風災が16. 8%で28, 596千円となった。

(2) 農機具共済

(引 受)

項 目	加入台数	共済金額	共 済 掛 金		1 台当たり 平 均 共済金額	備 考
			純共済掛金	賦課金		
農機具	台 5,463	円 17,039,310,000	円 47,333,371	円 19,291,912	円 3,119,000	屋 外 型 : 4,647台 屋 内 型 : 816台

○ 前年対比：共済金額 106.4%

○ 引受概況：引受制限による解除があったものの、農機販売店等の連携により台数で252台、共済金額1,028,830千円増加した。

(事 故)

項 目	事故台数	加入総共済金額	支払共済金	備 考
農機具	台 137	円 749,660,000	円 19,343,807	接触・衝突:64件, 転覆・墜落:6件, 自然災害・落雷:3件, 異物の巻き込み:5件, その他稼働中の事故:57件, 物体の落下:1件, 第三者行為:1件

○ 事故概況：積極的に事故防止啓発活動を実施したことから、支払共済金は4,659千円減少した。

主な事故原因は、接触・衝突事故が64台と全体の46.7%を占めた。また、機種別では、トラクタ・コンバインが99台と全体の72.3%を占めた。

7. 業務関係

(1) 主な処理事項

月 日	処 理 事 項	会 場
4 月 5 ～ 6 日	北信五県 農業共済組合長（会長）・参事会議	新潟県
16 日	会計実地検査（会検第4局農水検査第1課 臼田副長）	組 合（若狭支所）
18 日	〃 （会検第4局農水検査第1課 寺沢課長）	組 合（本所）
19 日	〃 （会検第4局農水検査第1課 寺沢課長、臼田副長）	組 合（坂井支所、本所）
20 日	〃 （会検第4局農水検査第1課 臼田副長）	福井県庁
25 日	都道府県農業災害補償制度関係主管課長会議及び農業共済全国参事会議	東京都（農水省）
26 日	農業共済新聞普及担当課長会議	東京都（協会）
26 日	会検指摘に係る協議（会検第4局農水検査第1課 臼田副長、前田調査官）	東京都（会検・農水省）
26 日	第1回 安全衛生委員会（ココ・カラGENKI委員会）	組 合（本所）
29 日	NOSA I 制度 PR 事業（かたかみ春たんぼ）	鯖江市
5 月 7 ～ 8 日	公認会計士 決算事務指導（増田公認会計士）	組 合（本所）
9 日	損害評価員会議（坂井支所管内）	坂井市
9 日	〃 （福井・福井南G管内）	福井市
10 日	〃 （奥越G管内）	大野市
10 日	〃 （第2事業部管内）	組 合（本所）
14 日	NOSA I 福井 第1回監事会・決算監査	組 合（本所）
19 日	〃 第1回理事会・役員推薦会議	組 合（本所）
21 日	損害評価員会議（若狭G管内）	組 合（若狭支所）
22 日	麦現地見回り調査（損害評価会調整委員）	管内全域
22 日	損害評価員会議（第2事業部管内）	敦賀市
27 日	NOSA I 福井 第9回通常総代会	組 合（本所）
29 日	うめ現地見回り調査（損害評価会果樹部会）	若狭管内

月 日	処 理 事 項	会 場
6 月 5 ～ 6 日	北信五県 農業共済担当者会議（農作物・損防・畑作物）	石川県
6 日	N O S A I 全国 理事会・役員推薦会議	東京都（協会）
12 ～ 13 日	北信五県 農業共済担当者会議（果樹・園芸施設）	石川県
14 日	N O S A I 福井 損害評価会（全体会議）	組 合（本所）
14 ～ 15 日	N O S A I 滋賀 視察受入（特定組合化）	組 合（坂井支所、本所）
19 ～ 20 日	北信五県 農業共済担当者会議（任意）	石川県
21 日	N O S A I 全国 通常総会・第 1 回組合長（会長）会議	東京都（協会）
22 日	N O S A I 福井 第 5 回「女性の会」	あわら市
26 日	〃 職員研修会（ウメ収穫・選別）	若狭町
26 ～ 27 日	北信五県 農業共済担当者会議（家畜）	石川県
28 日	果樹共済担当者全国会議	農林水産省
28 月	第 2 回 安全衛生委員会（ココ・カラ G E N K I 委員会）	組 合（本所）
7 月 10 日	N O S A I 福井 新農家理事研修会	組 合（本所）
11 日	N O S A I 全国 第 1 回参事会議	東京都（協会）
21 日	福井県『中古農機合同フェア』参画事業	福井県産業会館
23 日	N O S A I 情報化システム開発に係る説明会	東京都（協会）
23 日	会検指摘に係る協議（会検第 4 局農水検査第 1 課 臼田副長、前田調査官）	東京都（会検・農水省）
27 日	N O S A I 留萌「北海道」視察受入（特定組合化）	N O S A I 福井 本所
8 月 3 日	なし現地見回り調査（損害評価会果樹部会）	あわら市、若狭町
5 日	N O S A I 制度 P R 事業（さかい夏祭り）	坂井市
7 日	N O S A I 全国 事業推進・広報担当者会議	東京都（協会）
8 日	農業共済新聞「北陸版」広報担当者会議	東京都（協会）
8 日	水稻（1 回目）現地見回り調査（損害評価会調整委員）	管内全域
9 日	コウノトリが舞う里づくり支援事業（巣塔除幕式）	越前市
23 日	第 3 回 安全衛生委員会（ココ・カラ G E N K I 委員会）	組 合（本所）
27 日	水稻（2 回目）現地見回り調査（損害評価会調整委員）	管内全域
30 日	第 1 回任意共済事業推進担当者会議	東京都（協会）

月 日	処 理 事 項	会 場
9 月 3 ～ 5 日	区域外農場（そば1類）損害評価	北海道
10 日	NOSA I 全国 臨時総会・第2回組合長（会長）会議	東京都（協会）
11 ～ 12 日	北信五県 農業共済担当者会議（指導・広報・事務機械化）	石川県
12 日	衛星画像を活用した損害評価方法の導入に係る担当者説明会	東京都（協会）
19 日	NOSA I 福井 職員研修会（水稻実測調査）	鯖江市
20 日	第4回 安全衛生委員会（ココ・カラGENKI委員会）	組 合（本所）
25 日	NOSA I 全国 第1回 退職給与金施設運用委員会	東京都（協会）
25 ～ 26 日	北信五県 農業共済担当者会議（総務・経理）	石川県
28 日	果樹共済（うめ）評価高ヒアリング	東京都（農水省）
10 月 1 ～ 2 日	北信五県 家畜共済地区連絡会議	新潟県
4 日	NOSA I 福井 損害評価会 農作物部会（麦）・果樹部会（うめ）	組 合（本所）
5 日	農業共済組合常例検査 現物検査（県水田農業経営課）	組 合（本所）
9 日	大豆現地見回り調査（損害評価会調整委員）	管内全域
15 日	全国家畜共済担当者会議	東京都（協会）
16 日	NOSA I 福井 第2回理事会	組 合（本所）
17 日	NOSA I 全国 第2回参事会議	東京都（協会）
17 日	そば現地見回り調査（損害評価会調整委員）	管内全域
18 日	第5回 安全衛生委員会（ココ・カラGENKI委員会）	組 合（本所）
18 日	任意共済全国研修会	東京都
19 日	かき現地見回り調査（損害評価会果樹部会）	あわら市
20 日	NOSA I 制度 PR事業（越前市食育フェア）	越前市「仁愛大学」
25 日	公認会計士 中間事務指導（増田公認会計士）	組 合（本所）
26 ～ 28 日	NOSA I 福井 第6回「女性の会」県外視察	東京都・茨城県・岩手県・宮城県
28 日	NOSA I 制度 PR事業（そばまつりinみやま）	福井市
30 日	NOSA I 福井 第2回監事会・中間監査	組 合（本所）

月 日		処 理 事 項	会 場
11 月	8 日	N O S A I 東南部「岩手県」視察受入（特定組合化）	組 合（本所）
	9 日	北信・東海地区 家畜診療後術発表会	静岡県
	12 ～ 14 日	農業共済組合常例検査 実地検査（県水田農業経営課）	組 合（本所）
	13 日	〃 家畜共済実地検査（県水田農業経営課）	組 合（本所）
	13 日	農作物共済拡大地区連絡者会議	東京都（協会）
	15 日	農業共済関係予算要請（地元国会議員）	福井県（議員事務所）
	23 日	ふれあい体験事業（桝谷ダム・今立紙すき）	南越前町・越前市
	23 日	N O S A I 制度 P R 事業（おおのそば祭り）	大野市
	28 日	N O S A I 制度 6 5 周年記念大会・事業推進大会	東京都
12 月	3 日	衛星画像を活用した損害評価方法の年次計画策定打合せ会議	富山県
	4 日	N O S A I 福井 損害評価会 果樹部会（なし）	組 合（本所）
	4 ～ 5 日	農業共済新聞「北陸版」編集会議	富山県
	5 日	第2回任意共済事業推進担当者会議	東京都（協会）
	6 日	N O S A I 福井 損害評価会 農作物部会（水稻）	組 合（本所）
	7 日	会検指摘に係る協議（会検第4局農水検査第1課 臼田副長、前田調査官）	東京都（会検・農水省）
	26 日	N O S A I 福井 職員研修会（ウメ剪定）	若狭町
	15 日	〃 第3回理事会	組 合（本所）
	20 日	第6回 安全衛生委員会（ココ・カラG E N K I 委員会）	組 合（本所）
	21 日	N O S A I 福井 職員研修会（基調講演）	越前市
1 月	17 日	第7回 安全衛生委員会（ココ・カラG E N K I 委員会）	組 合（本所）
	24 日	畑作物掛金払込実態調査に係るヒアリング	東京都（農水省）

月	日	処 理 事 項	会 場
2 月	1 日	畑作物共済（そば）評価高ヒアリング	東京都（農水省）
	5 ～ 6 日	北信五県 農業共済事業運営検討会議	石川県
	12 日	都道府県農業災害補償制度関係担当者及び農業共済連等総務・指導担当者合同会議	東京都（農水省）
	12 日	N O S A I 情報化 全国会議	東京都（協会）
	13 ～ 14 日	N O S A I 全国 農業共済新聞全国研修集会	東京都
	14 日	〃 広報委員会議	東京都
	14 日	〃 第3回参事会議	東京都（協会）
	14 日	N O S A I 福井 損害評価会 畑作物部会（大豆・そば）	あわら市
	20 ～ 21 日	家畜診療技術 全国研修会	東京都
	22 日	N O S A I 福井 第7回「女性の会」嶺南研修	嶺南地区
	23 日	〃 第4回理事会	組 合（本所）
	26 日	第3回任意共済事業推進担当者会議	東京都（協会）
	28 日	N O S A I 全国 第2回退職給与金施設運用委員会	東京都（協会）
3 月	5 日	農業共済 関係機関・団体等会議	組 合（本所）
	8 日	N O S A I 福井 職員研修会（ココ・カラ G E N K I 委員会）	組 合（本所）
	19 日	N O S A I 全国 専務・常務会議	東京都（協会）
	21 日	〃 臨時総会・第3回組合長（会長）会議	東京都（協会）

(2) 総代会

ア 第9回通常総代会（平成24年5月27日）

ところ 福井県農業共済会館 2階大会議室

総代会日現在総代数	A	209 人	出席率 (%)
本人出席	B	138 人	B／A 66.0 %
代理出席		0 人	
書面出席		43 人	
出席者計	C	181 人	C／A 86.6 %

重要な議事及び議決事項

- 第 1 号議案 平成23年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び
剰余金処分案並びに不足金処理案について
- 第 2 号議案 平成24年度事業計画及び業務収支予算書について
- 第 3 号議案 平成24年度事務費賦課額及び徴収方法について
- 第 4 号議案 共済連絡員、損害評価員、損害評価会委員、役員の報酬について
- 第 5 号議案 役員の退任慰労金について
- 第 6 号議案 特別積立金取崩し限度額について
- 第 7 号議案 農作物共済及び果樹共済並びに園芸施設共済に係る無事戻金の支払
について
- 第 8 号議案 余裕金の預入先金融機関の指定について
- 第 9 号議案 借入金の最高限度額、借入先、借入利率について
- 第10号議案 損害評価会委員の選任について
- 第11号議案 役員の選任について
- 附 帯 決 議

(3) 役職員その他

ア 役 職 員

役 員 数	理 事												監 事				合 計			
	常 勤 2 人		非常勤 11 人		欠員 0 人		計 13 人				3 人				16 人					
職 員 数 (嘱託職員含)	区分	参 事	副参事 総括所長	部 長 支所長 診療所長	本所グループ												支 所		家 畜 診療所	計
					総 務	経 理	企 画	シ テ ス ム	作 物 保 険	園 芸 保 険	任 意 保 険	福 井	福井南	奥 越	鯖 丹	南 越	坂 井	若 狭		
	男	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	女	1	2	8	3	1	1	2	3	1	1	7	3	6	4	6	9	7	2	67
	計	1	2	8	4	4	3	3	3	2	2	8	4	7	5	8	11	9	3	87
計の内 産育休等数							1									1		1		3

イ 総代、共済連絡員、損害評価会委員、損害評価員

項 目	総 代	共済連絡員	損害評価会委員	損害評価員
定 数	209 人	2,040 人	80 人	380 人
現 状	208 人	2,040 人	80 人	380 人
不 足 数	1 人	人	人	人